

1. 取り巻く環境の認識

新型コロナウイルスの感染拡大により、危機対応能力の脆弱性、デジタル化の遅れ、東京一極集中の弊害などの課題が改めて浮き彫りとなった。

世界に目を向けると、米中対立、地政学上のリスク、格差や地球環境問題、自国第一主義、過度な株主至上主義

4 文段、情勢は混沌としている

の下、アンケートや情報発信を強化。

部門横断的な活動の強化に向け、事務局内にタスクフォースを設置(10月)。また、物流分野における生産性の向上を目的とした物流懇談会の活動を本格化(3月)。

広域での産学官連携活動では、観光・防災・デジタル人材などで取り組みを推進。1月の「中央日本交流・連携

ナ

コースを設置(10月)。また、物流分野における生産性の

「人材育成に関する『新時代に相応しい取り組み』を目指して(12月)

名古屋商工会議所との共同提言「東京一極集中の是正に向けた地域の機能強化と魅力向上に関する提言(1月)

英「コロナ禍からの教訓と経済社会の変革(2月)

西日本の、瀬戸ごきま 帰愛鯉文ら 客業極兩杭「東京一極集中 悉 禪

コロナを見据え、デジタル化の推進、東京一極集中の是正と地域の機能強化、さらには、グリーン成長戦略対応、リニア中央新幹線の開業に向けた地域づくり、セントレア二本目滑走路の早期整備などの活動を一層強化していく重要な1年となる。

中経連は、コロナ禍での経済回復や顕在化した課題の克服に向けた取り組みは

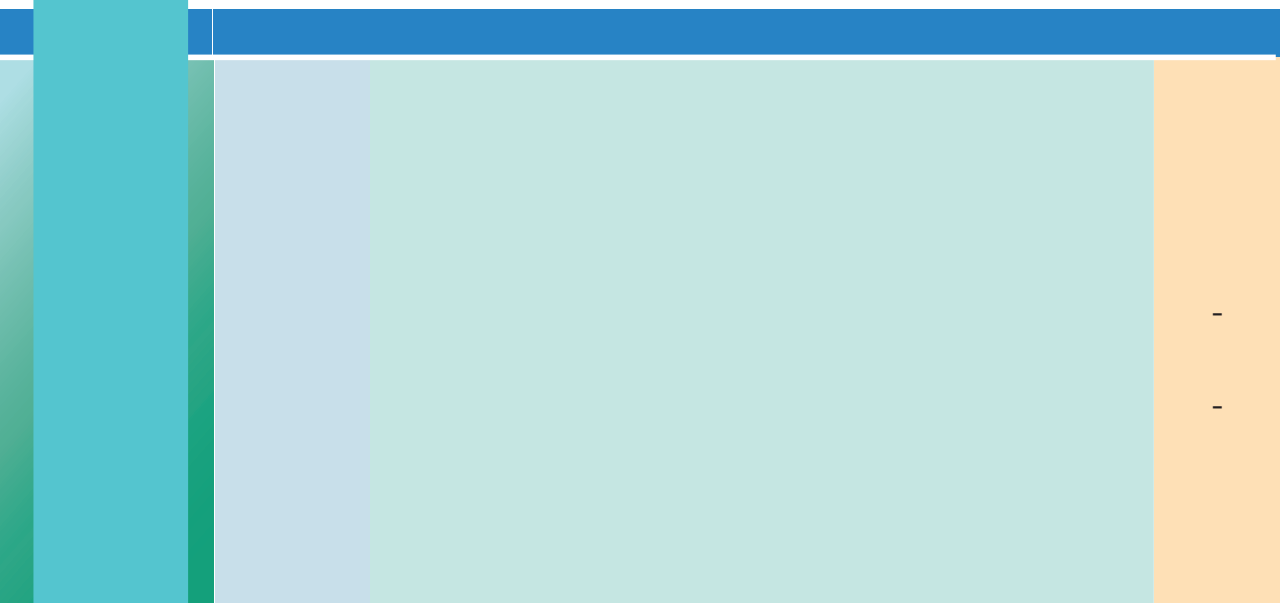
q »~M°□•→w` } BŠz~xİ. •wAe } æOqq<tz qÈ `zäí; ^À~ « ^Àsrw
sî•Ã´ »ç=w* } \$"Æ^ } "Fî^d" {

2 中部圏の地域力の持続的な向上(ポストコロナを見据えた活動)

濃杭

(4)働き方の変革と人材の育成

多様な人材が自らの能力やスキル
コロナにお 文様 “ 人儒音続の



イノベーション
デジタル化推進 魅力と活力ある地域つ土 -